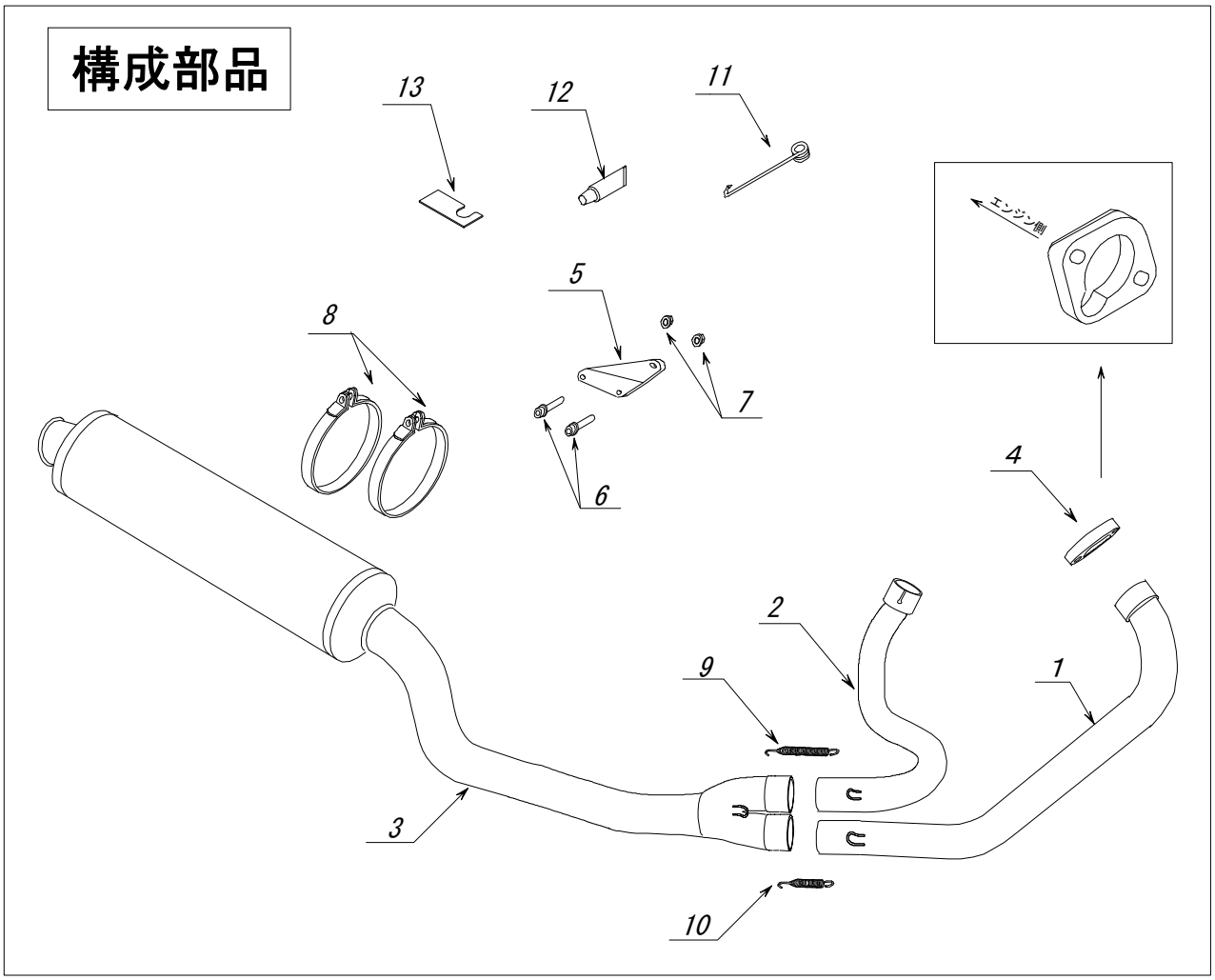
MORIWAKI TOURER SPADA

取扱説明書

作業される前に必ずお読み下さい



【パーツ一覧】

No.	部品番号	商品名	入数	単価(税込)
1	A501-112-0052	ﾌﾛﾝﾄﾊﾟｲﾌﾟ #1	1	¥13,650
2	A502-112-0052	ﾌﾛﾝﾄﾊﾟｲﾌﾟ #2	1	¥13,650
3	A50T-112-0052	ﾃｰﾙﾊﾟｲﾌﾟAssy	1	¥35,700
4	462-112-0000	ﾌﾗﾝｼﾞ	1	¥1,470
5	5220-12020-7230	ﾊﾞﾝﾄﾞｽﾃｰ	1	¥1,019
6	1261-060200-210	ﾌﾗﾝｼﾞｷｬｯﾌﾟﾎﾞﾙﾄ 6×20	2	¥74
7	2100-060000-010	ﾌﾗﾝｼﾞﾅｯﾄ 6mm	2	¥105
8	18931-L3168-00	ｻｲﾚﾝｻｰﾊﾞﾝﾄﾞ	2	¥1,260
9	0A02-08709-FH21	ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞﾛﾝｸﾞ	1	¥315
10	0A02-06009-FH20	ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞｼｮｰﾄ	1	¥210
11	3A32-00000-00T0	ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞﾌﾟﾗｰ	1	¥210
12	860-806-0600	ME30(シール剤)	1	¥30
13	3111-00017-0400	ﾊﾞﾝﾄﾞｸﾘｯﾌﾟ	1	¥189
	CD-00714072	JMCAｶｰﾄﾞ	1	
		保証書	1	
		取扱説明書	1	

＝注意事項＝

① 作業するときは、けが、やけど防止のため、軍手を着用して下さい。
② マフラーは非常に高温になります。停車時には、周りに子供が遊んでいたり、狭い場所で人が触れないように十分に気を配って下さい。
③ 作業するときは、エンジンを十分冷ましてから行って下さい。やけどをする恐れがあります。
④ エンジンを運転する際には、換気の良い場所で行って下さい。
⑤ マフラー取付け時に脱落などのトラブルが発生しないよう、各部の締め付けを十分確認して下さい。またマフラーが各部と干渉しないか確認して下さい。
⑥ 走行中に振動によりボルト類が緩むことがありますので、定期的に増し締めを行って下さい。特に転倒後は、緩みやすくなりますので必ず点検して下さい。
⑦ 本製品は、スタンダード車両を対象としたマフラーです。車両にスイングアーム、ステップ等の改造がありますと装着できない場合があります。不正な改造によるマフラー破損等の返品はおうけしておりませんのでご了承下さい。

この度は、モリワキツアラーSPADA をお買い上げ頂き。誠にありがとうございます。

取り付けに際しましては、この説明書をよくお読み頂き、必ずエンジンが冷えた状態で作業を行って下さい。

適合車種は、ホンダ VT250　SPADA となっております。

その他の車種には取り付けられませんのでご注意下さい。

ご不明な点などございましたら当社までお問合わせ下さい。

【作業工程】

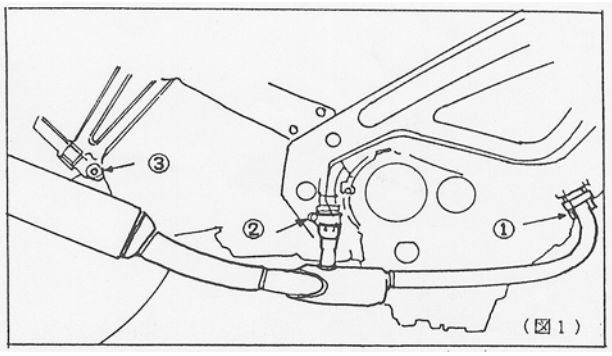
1. スタンダードマフラーを取り外します

まず、前側パイプを止めているフランジ部のナット 2 個を外し(図１①)さらに後側パイプを止めている接合部のクランプボルトを充分に緩め(図１②)テールパイプステー部のボルト･ナットを外し、スタンダードマフラーを取り外します。

この際、取り外したボルト・ナット類及びクランプはモリワキマフラーの取り付けにも使用しますので保管しておいて下さい。

またガスケットは、できる限り新品に交換して下さい。

後ろ側パイプのガスケット(円筒形)は、マフラー側にはりついている場合がありますのでご注意下さい。



2. モリワキマフラーを取り付けます

①＃1.＃2 パイプを、エンジンに取り付けます

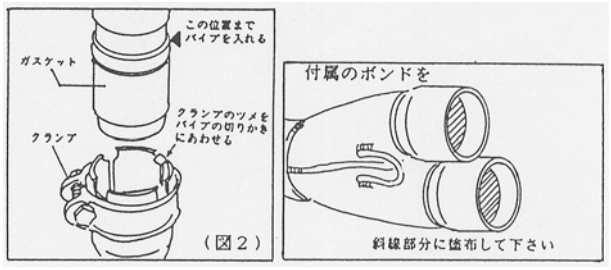
＃1 パイプに付属のフランジを通し、これをエンジン側に取り付けます。

この際フランジ部のナットは仮止め状態(パイプが渋く動く程度)にしておいて下さい。

＃2 パイプは、図 2 に従って取り付けて下さい。

特に差込み量が充分になるようご注意下さい。

また、＃2 パイプも同様に仮止め状態として下さい。



②テールパイプを差し込みます

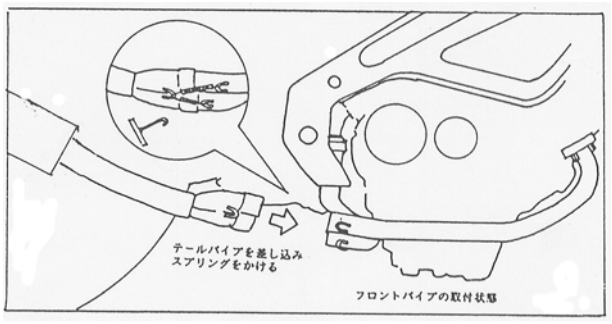
ジョイント部内側に付属の ME30 を塗布します。(図参照)

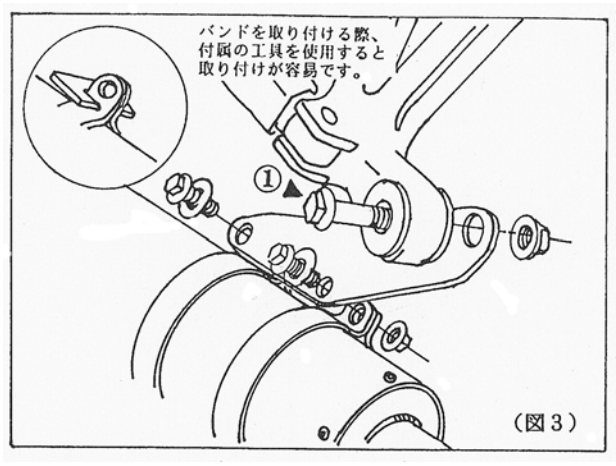
使用量は、薄く均一にチューブ半分位の使用量を目安として下さい。

次にこのテールパイプを先ほどエンジンに取付けたフロントパイプも差し込みます。

少しコツのいる作業ですが、ジョイント部に手を添え、一本づつ差し込んでいくようなつもりで作業して下さい。

テールパイプが充分に差し込められましたら、付属のスプリング２本をフロントパイプ、テールパイプの間に取り付けて下さい。





③ステーを取付けます

ステー部を付属のバンド・ステープレート等を使って図３にしたがって取り付けて下さい。

バンドをサイレンサーに通す際は、サイレンサーにキズが付きやすいのでご注意下さい。

ステー部が図３の通りに組めましたら図3①のボルト･ナットを仮止めしておいて下さい。

④最終取付け

仮止めした＃1パイプのフラジ部のナット、＃2パイプのクランプ部のボルトを本締めします。

この際＃1パイプのフランジが傾いたりしないよう左右のボルトは均等に締め込んで下さい。

また絞め過ぎはスタッドボルトの破損を招きます。ご注意下さい。

最後にテールパイプステー部(図 3①)の取付けボルトを本締めして下さい。

3. 最終確認

以上で作業は終了です。マフラーに付着した汚れをよく拭取ってからエンジンを始動し、排気漏れがないかどうか確認して下さい。

4.. キャブレターセッティングについて

モリワキ・ストリートマフラーは、すべてスタンダードの状態で性能を発揮するよう設計されております。従って、キャブレターのジェットの変更等の必要はありません。

5. ＪＭＣＡについて

この製品は、ＪＭＣＡ認定マフラーとなっております。

正しく取付けられた状態であれば何ら違法で

はなく、従って車検も装着したままで受けることができます。

同封の認定カードは、走行時にはご携帯下さい。

6. 保守について

マフラーは市販の防錆剤を塗布するなどで錆びを防いで下さい。サイレンサー部はアルミニウムですので、極細目のコンパウンドを利用すれば細かなキズ等でしたら取り去ることが可能です。

オイル交換、エレメント交換ともにマフラーを装着したままで可能です。

本説明書は末永く保管し、メンテナンス等の機械には、活用するようにして下さい。
製品上の問題点、取付け時の不明点等がありましたら、お気軽にお電話にてお問合わせ下さい。

（株）モリワキエンジニアリング

〒513-0825 三重県鈴鹿市住吉町 6656-5

Tel 059-370-0090 Fax 059-370-0152

HP　http://www.moriwaki.co.jp